

## 南小たば風通信 2018

平成30年10月9日（火） 第22号

## 3年生 国語科「絵文字について説明しよう」事後研記録

## 1. 授業者より

## 荒谷先生

- ・よいとことを選ぶことについて、図工ではないので絵の比較ではないということもあり迷いが出てしまった。
- ・段落のつながりや書き方の工夫、特徴をおさえているか、きっかけがわかりやすく書けているかなど、やっているうちに読むなのか書くなのか曖昧さが出てしまった。
- ・絵文字カードは、みんな興味をもってしっかり取り組んでいた。
- ・禁止やや注意以外にもいろいろなものが出てきたのでよかった。
- ・欠席した児童がいたが、何とか時間を確保して進めてきた。

## 上野先生

- ・特徴とまとまりをしっかりと読み取ることができていた子は、しっかり書けていた。
- ・荒谷先生の見本の提示⇒すっとんと落ちていた子は◎
- ・まとまりをとらえきれずに文章が流れてしまっていた子もいた。
- ・読み比べや気づかせ方など、どこまで口を出していいのか迷いながらかかわっている。
- ・絵の方に目が行ってしまい、改善点に結び付けることは難しかった。

## 2. グループ討議

## 柱①授業全体の流れから

(1) つかむ (2) 深める (3) まとめる (4) 単元計画

## 柱②仮説の検証

◆本時が『主体的・対話的で深い学び』のある授業となっていたか。



## Aグループ

- ・課題の提示（掲示物・説明）の仕方がよかった。
- ・前時までの計画がしっかり進められていて、しっかりした絵文字カードがかけていてよかった。
- ・班で交流・発表のところは、書くことに時間がとられ、発表で戸惑いが出てしまったので改善が必要に感じられた。
- ・まとめの段階がもう少しすっきりできるとよかった。

## Bグループ

- ・掲示物を貼ることで、意識付けができていてよかった。
- ・「図工ではないよ。国語だよ。」の説明もよかった。
- ・禁止だけでなく、生活に役立つものという意識付けがしっかりできていた。
- ・ギャラリーウォークは、集中して自分のペースで読むことができていた。
- ・T・Tの先生の配慮がよかった。
- ・交流の場面では、改善点ではなくいいところに焦点を絞ってもよかったように思う。
- ・自分の絵文字カードを見せて、当てっこするのもよかったかも。

## Cグループ

- ・活動前の指導がていねいでよかった。
- ・深める場面で、時間がしっかり確保されていて文章との対話ができている。
- ・オリジナル絵文字から、思いがしっかり伝わってくるものが多かった。
- ・どうしても視覚（見た目）で左右されてしまうので、パソコンを使ってある程度同じ素材で・・・というのも面白いかもしれない。
- ・「いいところ」を付箋に書いて貼るなど、残す手立ても考えられる。
- ・交流場面での、子どもたちの声の大きさがちょうどよかった。
- ・全体交流は、難しい様子が見られた（指示・声掛けの精選が必要）。
- ・まとめところで時間がおしてしまったのが残念。
- ・雰囲気・タイマー3個使い・板書がよかった。
- ・全体交流は、発達段階に合わせて指導していければよい。



### 3. 教頭先生より

- ・たし算の授業改善を行っていくことが大切。（単独・単発×）積み重なったものが、次の授業研究へ。
- ・ピクトグラムは難しさもあるが、あくまでも位置づけを明確にするためのもの。どうやって「主体的・対話的で深い学び」につなげていくか大事。ピクトがメインではない。
- ・文章と対話する力。いいところ交流を通して「自分のものにはないなあ・・・。」と気が付けていたようなので、めあては達成されていた。

### 4. 大まかな今後の予定☆

10月31日（水） 低学年ブロック 指導案検討 （1年生 指導主事訪問）

11月14日（水） 板書交流会1年生 指導主事訪問  
※19日（月）に指導案を指導主事へ  
※略案の指導案は22日（木）までに完成  
⇒略案の様式については後日（10月中に）提案します。

11月27日（火） 4校時 1年生指導主事訪問 ※放課後⇒事後研